

二学年だより

No, 5

令和 6年 6月 3日
太宰府市立太宰府西中学校
文 責：

中間考査に向けて！

～「できるかできないか」ではなく「やるかやらないか」～

中間考査が近づいてきました。2年生になって初めての定期考査です。1問でも多く正解になるように、1点でも多く点数が取れるように、精一杯テスト勉強に励んでいきましょう。

下記の内容は1年生のときにも紹介しましたが、もう一度目を通してテスト勉強に役立ててください。

○中間考査に向けていったい何を、どのように勉強したらよいのだろうか…？

何を勉強するのか

- ① 毎日の授業で自分が「理解していないところ」
- ② 毎日の授業で「覚えなければならないところ」

どう勉強するのか

- ① 「理解していないところ」を「理解できる」ように勉強する。
→ 自分で教科書やノート調べ。
→ 調べても分からないときは、「先生」や「友だち」に質問する。
- ② 「覚えなければならないところ」を「覚える」ように勉強する。
→ 覚えるときは、「目」(見る)と「手」(書く)と「口」(声に出す)を同時に使う。



○「あなたが理解していないところ」「覚えなければならないところ」はどこですか？それらを、どうやって発見しますか？

「テスト範囲」を知り「それぞれの教科の自分の弱点」を知ることから始める。

- ① テスト範囲の教科書を声に出して読む
・ 読みながら、読めない文字、意味不明の語句、初めて見るような公式や問題をチェックする。
- ② 授業中にとったノートやプリントを読み直す
・ 重要と思える記述、意味不明な記述はチェックする。
・ 休んだりして書いてない部分は友達に見せてもらう。
- ③ 授業で使ったプリントやワークをチェックする
・ プリントは全部そろっているか。なければ…。
・ できる問題はどれか、できない問題はどれかをチェックする。
・ 重要語句や意味不明の語句、公式をチェックする。



○「自分に合った勉強計画は必ずある」が「全ての人に合った勉強計画はない」。

テスト勉強計画づくりのポイントは？

- ① 「計画はスモールステップ(小刻み)で」
- ② 「無理な計画は無意味」
- ③ 「生活時間に優先順位をつける」
第1位「睡眠時間」(絶対、減らしてはいけない)
第2位「勉強時間」(絶対、増やさなければならない)
第3位「自由時間」(なんとかして、減らさなければならない)



勉強して伸びる人とはどんな人か

「伸びる人のタイプ」は、「素直である」「根性がある」たったこれだけである。

「素直」とは何か。国語辞典を引くと「他人の言うことを受け入れられる様子」とある。つまり、人の話をちゃんと聞き、そのとおりに実行してみるということだ。

勉強に関する素直さとは、親や学校や塾の先生達の言うことを、きちんと聞き取り、それを実行するということだ。たとえ、その内容が苦しく困難なものであっても、ちゃんと実行するということなのである。

よく自分の成績の悪さを、塾や学校の先生のせいにする生徒がいる。「あの先生の教え方は下手だ」「あの教科の勉強はつまらない」「この塾の教え方は良くない」成績が上がらないイライラした気持ちもよく分かるのだが、そんな人は、もう一度よく考えてほしい。あなたは、その先生の言うとおりの方法で、きちんと努力しているのか。努力もなしに、そこに座って話を聞くだけで勉強できるようになる塾や学校は絶対にない。

また、「先生の説明の仕方が悪いからよくわからない」と言う生徒もいる。それならなぜ質問しないのか。本当にわかりたければ質問しなければならない。「わからない」をそのままにしておいて本当にわからなくなるのは生徒の責任。「わからない」と生徒から質問されて、わかるように説明できなければ、それは先生の責任である。

「素直」という要素は、勉強だけに求められるものではない。私たちが趣味や仕事で新しい技術を身につけようというときにもこの「素直」が大切になってくる。

「根性」とは何か。意味の一つに「何事にも積極的に立ち向かおうとする強い性質」というのがある。勉強することは全てが「初めて」のものである。すでに知っている事であれば、勉強する必要はない。だから、勉強するためには「何事にも積極的に立ち向かおうとする強い性質」が強く求められる。

でも、「私は根性がなくて」という人もいるだろう。当たり前なのだ。生まれつきの根性を持っている人なんていないのである。根性は作られるのである。勉強の根性は勉強することで作られるのである。

わからない問題をわかるまでやってみる。簡単にはわからないが、それでもやってみる。質問してみる。声に出して読んで、書いてみる。そしてわかる。そして少し根性がつくという具合である。少し根性がついたら、次は少しレベルの高い勉強が可能になる。

「幕ノ内勉強新聞」より

いつも三人の自分がいる。
できないと思って、あきらめる自分。
できると思って、あきらめない自分。
選ぶのも自分。

保護者のみなさまへ

体育会では、子ども達へ温かい声援を送っていただき、ありがとうございました。また、役員として仕事をしてくださったみなさま、本当にありがとうございました。

今週末には中間考査が実施されます。お子様への叱咤激励と体調管理をよろしく願いいたします。